

登録コード	UAF48500	開講年度	2026			
授業題目	学習科学特論					担当教員 佐藤 和紀
						副担当
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 UACリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UACリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UACリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UACリ・総人社・心理長野・臨床心理学					
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				⇔	学習科学の基礎的な知識を習得し、心理学の知見に基づいた高度な分析力と応用力を養うことを目標とする。具体的には、学習科学の理論的背景、個別最適な学びと協働的な学び、ICT活用、メタ認知、自己調整学習等を理解し、教育現場における課題解決に繋がる実践的な能力を育成する。
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				⇔	学習者の心理状態を的確に捉え、自己調整学習を支援できる高度な専門性を培う。
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				⇔	学習科学の知見を社会に活かせる人材育成を目指す。地域・社会の課題に対し、多様な関係者を巻き込み、主体的に問題解決を図る力を養う。具体的には、学習科学の理論に基づいた分析力を習得する。
(2)授業の概要	授業のねらいを達成するために、社会で求められる学習スキルである21世紀型スキルについて理解し、その支援のためにICTを活用することの意義を理解することを目指す。また、既存の授業を学習科学の理論的背景のもと分析・検討する。特に学習者の学習過程に焦点を当て、人が如何に学習していくのかについて理解することを目指す。					
(3)授業計画	1. ガイダンス 2. 社会的背景と学習科学 3. 協調学習・21世紀型スキル 4. 学習科学の理論的背景 5. 個別最適な学びの理論的背景 5. 協働的な学びの理論的背景 6. 個別最適な学びと協働的な学びにおける学習過程 7. 学習過程の形成的評価 8. 学習スキル, 21世紀型スキルの育成 10. メタ認知の理論的背景 11. 自己調整学習の理論的背景 12. ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びにおける学習過程 13. 事例分析 14. 学習科学研究の今後の課題					
(4)成績評価の方法	・各回の授業に関する課題（50%）、最終試験（50%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準	「卓越している」：本授業での学習内容を多面的・総合的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を極めて効果的に加えていて卓越している。 「かなり上である」：本授業での学習内容を多面的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を効果的に加えていてかなり上である。 「やや上にある」：本授業での学習内容を取り入れていてさらに独自に調査した内容を加えていてやや上にある。 「水準にある」：本授業での学習内容を取り入れていて水準にある。					
(6)事前事後学習の内容	●講義について振り返りを行う。また、他者の振り返りに対してコメントする。 ●講義に関連する内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(7)履修上の注意	GoogleChatやeALPSを常時利用する。 後期の学習科学演習をセットで理由すること。					
(8)質問,相談への対応	・附属次世代型学び研究開発センター2F 佐藤研究室 E-mail: sato_kazunori@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー: (前期)メール予約で随時対応 (後期)メール予約で随時対応					
【教科書】						
【参考書】	大島 純ほか, 主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック, 北大路書房 三宮 真智子, メタ認知で〈学ぶ力〉を高める: 認知心理学が解き明かす効果的学習法, 北大路書房 ジマーマンほか, 自己調整学習の実践, 北大路書房 三宅 なほみほか, 協調学習とは: 対話を通して理解を深めるアクティブラーニング型授業, 北大路書房 三宅 なほみほか, 21世紀型スキル: 学びと評価の新たなカタチ, 北大路書房 奈須 正裕, 個別最適な学びと協働的な学び, 東洋館出版社 加藤幸次, 個別最適な学び・協働的な学びの考え方・進め方, 黎明書房					